

～地域の絆が災害の被害を防ぐ大きな力に～

自主防災組織を結成しましょう

自主防災組織とは、地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感に基づき、地域住民同士が災害による被害を予防、軽減するための防災活動を行う組織です。



自主防災組織はなぜ必要か

町内で大災害が発生したとき、町では、消防などの防災関係機関と協力して、全力を挙げて防災活動を行います。しかし、大規模な災害の場合、同時に各地で多数の災害の発生が予測され、交通の障害や、様々な悪条件により、防災関係機関の機能が大きく低下します。そのようなとき、個人の力だけでなく、隣近所など地域の連帯意識に基づく自主的な活動が必要です。住民が自ら行う出火防止、初期消火や被災者の救出救助が被害の防止と軽減に大きな役割を果たします。

阪神・淡路大震災では、救出された人たちの多くが、自力または家族や隣人に救助されたという報告があります。また、東日本大震災では、押し寄せてくる津波に対して、住民自らが住民を高台へと避難させ、無事に全員を助け出したという自主防災活動が機能した地域の事例もあり、自主的な住民組織の有効性が改めて認識されています。

あなたの地域でもぜひ、結成しましょう

自主防災組織は、住民相互の合意に基づくことが原則です。町内会の組織をそのまま自主防災組織とする方法や、町内会の下部組織として結成する方法など、既存の組織を活用する方法が結成の近道です。ぜひ、みなさんの地域でも、積極的に自主防災組織を結成しましょう。

結成する手順は？

いろいろな手順が考えられますが、一般的には次のとおりです。町内会を中心に地域のみなさんで協議をして、組織を結成することに合意する。規約や活動内容、防災計画などを作成する。自主防災組織を結成したことを町に知らせる。 (許可申請や届出義務はありませんが、災害時の防災活動は、町や消防等との連携が必要になるので、町に組織の結成を知らせておくことが必要です)



自主防災組織の活動内容

平常時の活動

防災意識向上のために、防災に関する知識を習得したり、災害の発生を想定した訓練を実施します。

- ① 防災知識を広める活動
防災に関する様々な知識を得し、町内回報などで周知。
- ② 防災訓練の実施
初期消火や救出、救護の訓練などを行い、防災活動に必要な知識

災害時の活動

災害発生時の被害の軽減、防止のために地域で組織的な活動をする。

- と技術を習得。
- ③ 危険箇所の確認
被害の拡大等を防ぐため、地域の危険箇所を把握。
- ④ 防災資材の整備
消火器・ヘルメット・非常食などを整備し、災害時に備える。



します。

- ① 情報の収集と伝達
被害情報等を正確に収集して、迅速に伝える活動。
- ② 出火防止と初期消火
消火器やバケツリレーなどで行う初期消火の活動。
- ③ 救出と救護
負傷者の応急手当や、救護所などへの搬送。
- ④ 避難誘導
避難所への誘導や、自力で避難が困難なお年寄りや身体の不自由な方への援助。

⑤ 給食や給水

備蓄食料などで給食を実施したり、救援物資の運搬、配分などを実施。

自主防災組織の結成や活動内容は、地域の実情により異なります。町内会などで、ぜひ話し合ってみましょう。ご不明な点は総務課総務係までお問い合わせください。

お問い合わせ

総務課総務係

☎ 62・1211

平成25年 3月7日から

「津波警報」が変わります

東日本大震災から2年をむかえますが、津波警報等の発表内容が次のとおり変更になります。

▶マグニチュード8を超える巨大地震のとき

津波警報は「巨大」「高い」という表現で非常事態であることを伝えます！！

巨大地震の場合、正しい地震の規模をすぐに把握できないため、その海域での最大級の津波を想定して大津波警報や、津波警報を発表します。

これにより、津波の高さを小さく予想することを防ぎます。

▶高い津波がやってくる時、地震の発生直後で、津波の高さがまだ充分小さいうちは

「観測中」として発表します！

高い津波がこれから来るという時に、津波が小さい段階の数値を見て、それが最大だと誤解して、避難の足を鈍らせてしまう危険があるためです。

▶正確な地震の規模がわかった場合

予想される津波の高さを5段階で発表！

これまでの8段階を、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階に集約して発表します。

| | 予想される津波の高さ | | 巨大地震発生時の表現 |
|-------|--------------|-------|------------|
| | 発表する値(高さの区分) | | |
| 大津波警報 | 10m超 (10m～) | 巨大 | |
| | 10m (5m～10m) | | |
| | 5m (3m～5m) | | |
| 津波警報 | 3m (1m～3m) | 高い | |
| 津波注意報 | 1m (20cm～1m) | 表記しない | |

津波から命を守るためにも

強い揺れ、弱くても長い揺れを感じたら
揺れがなくても、津波警報を見聞きしたら



すぐに避難！！

お問い合わせ

旭川地方気象台 防災業務課 ☎0166-32-7102